

○基本情報

集計項目：(2)環境保全効果 - 物質収支
集計範囲：国立大学法人千葉大学(西千葉、亥鼻、松戸、柏の葉。墨田)
対象期間：2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)

○集計結果

物質収支

Table with columns: 対象, 項目(単位), 西千葉地区, 松戸・柏の葉地区, 亥鼻地区, 墨田地区, 千葉大学合計. Rows include energy consumption (総エネルギー投入量), water resources (水資源), and chemicals (化学物質).

Table with columns: 対象, 項目(単位), 西千葉地区, 松戸・柏の葉地区, 亥鼻地区, 墨田地区, 千葉大学合計. Rows include atmospheric and water discharge (大気・水域への排出) and waste discharge (廃棄物・廃液等).

Table with columns: 対象, 項目(単位), 西千葉地区, 松戸・柏の葉地区, 亥鼻地区, 墨田地区, 千葉大学合計. Rows include PCB waste management (PCB廃棄物).

注：・物質収支の算定は、環境省「環境報告ガイドライン2007年版」、環境省「事業者の環境パフォーマンス指標ガイドライン2002年度版」及び環境省「環境会計ガイドライン2005年版」に基づいて行いました。

・「/」欄は、投入・排出等または集計がありませんでした。

・紙類(A4換算)購入量及びトイレペーパー購入量は、大学の事務局及び各学部・大学院等の事務部で購入した数量を集計しました。

・電力起源の二酸化炭素排出量は、東京電力網の実排出係数(単位：kg/kWh)から算出しました。

<2017年度：0.475、2018年度：0.468、2019年度：0.457、2020年度：0.447、2021年度：0.447(前年度と同値と仮定)>。

・廃棄物排出量は、排出単位が台数等で重量にて集計できない品目(家電リサイクル法対象廃棄物など)は除外しました。

・BOD(生物学的酸素要求量)排出量は、各地区の年度ごとのBOD平均値(mg/l)を基に算出しました。

・各項目の数値については集計範囲等の見直しに伴い、さかのぼって数値を一部修正しました。

Table with columns: Item, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022. Rows list various fluorescent lamp ballasts (蛍光灯安定器) and other electrical equipment.